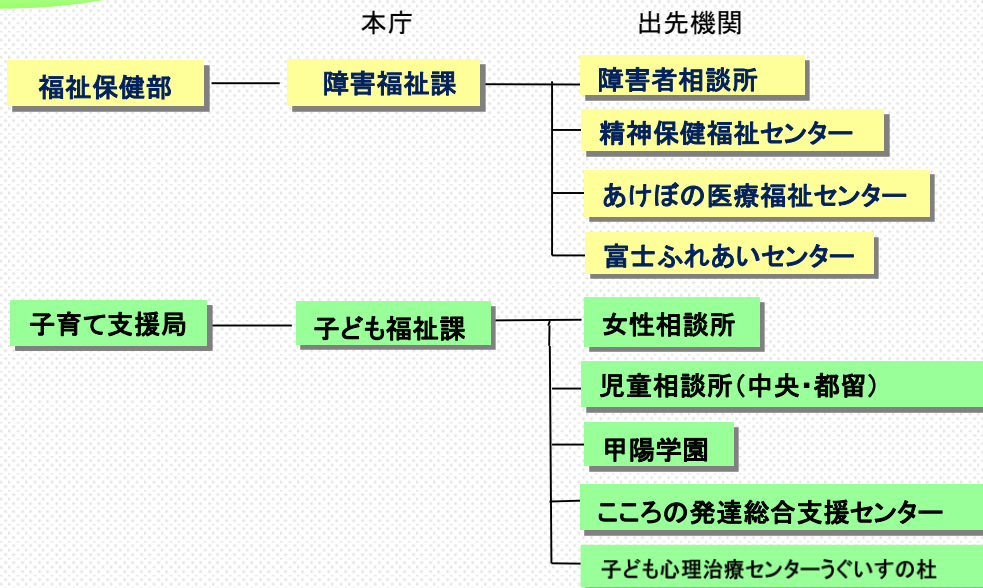


山梨県職員「社会福祉Ⅱ」業務案内

採用後の配属先



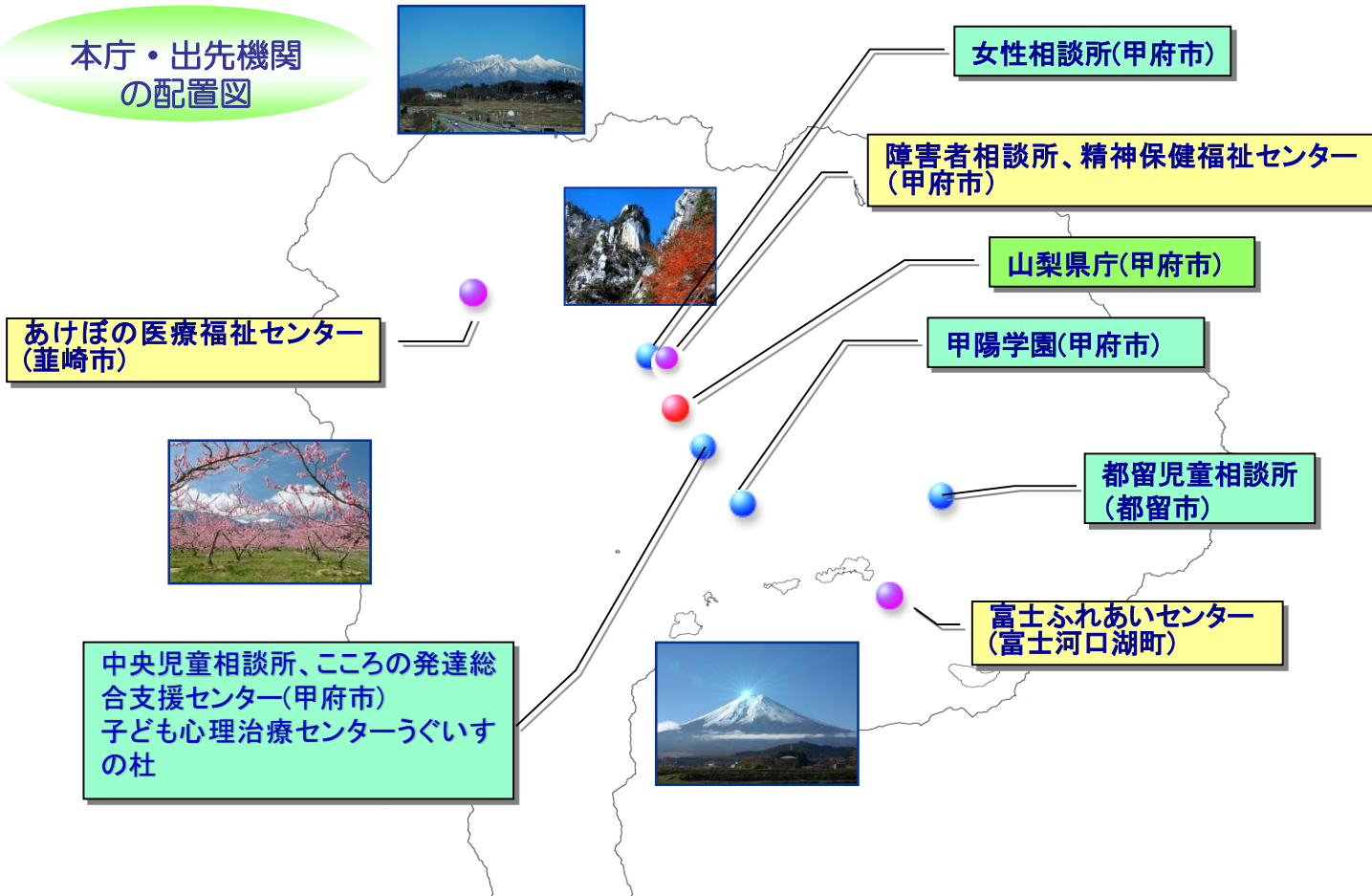
○山梨県職員「社会福祉Ⅱ」の配属先は、障害福祉分野を担当する福祉保健部、児童福祉分野を担当する子育て支援局に分かれます。
 ○福祉保健部では、主に「障害者相談所」、「精神保健福祉センター」、「あけぼの医療福祉センター」、「富士ふれあいセンター」に勤務します。子育て支援局では、主に「女性相談所」、「児童相談所」、「甲陽学園」、「こころの発達総合支援センター」に勤務します。
 ○福祉保健部と子育て支援局で、専門職として県民サービスに務めます。



公務員の福祉職として 社会や地域に貢献する

ソーシャルワーカーやセラピストとして児童や障害に関する相談や判定業務、ケアワーカーとしての支援業務など、県職員の福祉職の業務は専門性を活かし、県民にサービスを直接提供する機会も多いのが特徴です。様々な職場や業務の経験を通じて、幅広く知識・技術を習得することができ、自身の専門性を高めることができます。
 児童虐待やDVといった社会問題になっている事案にも最前線に対応するため、県職員の福祉職には大きな期待が寄せられており、責任と使命感、やりがいを感じることができる仕事です。

本庁・出先機関の配置図



●大自然に囲まれ、グルメも豊富な「やまなし」で働きましょう!

富士山、富士五湖周辺や八ヶ岳連峰、南アルプス連峰など日本を代表する名峰に囲まれた山梨には、国際的な観光スポットが数多くあります。
 雄大な自然パノラマを眺め、休日には自然に触れながら、腰を据えて山梨で働いてみませんか。



山梨は、全国的に有名なワインの産地でもあります。ワインが持つ固有の歴史や伝統、それに関わる人の情熱などによって今日のワインづくりが支えられています。
 ワインのように、これからの社会人生活を山梨でゆっくりと「醸成」してみませんか。
 果樹王国山梨ならではの「味覚」もお薦めです。



—山梨県職員「社会福祉Ⅱ」の採用や募集に関するお問い合わせ先—

山梨県 福祉保健部 福祉保健総務課 総務経理担当 TEL 055-223-1441
 〒400-8501 甲府市丸の内1-6-1 ホームページ <https://www.pref.yamanashi.jp>

先輩職員の1日のタイムスケジュール

こころの発達総合支援センター 田中 南 主事

相談対応の様子



ケース会議の様子



8:30 8:45 9:30 12:00 13:00 15:00 17:15

登庁 全体ミーティング 相談 昼休み 相談 ケース会議 退庁

障害者相談所 保坂 美香 主任

判定の様子



補装具(一例)



8:30 9:00 10:00 11:00 12:00 13:00 15:30 17:15

登庁 補装具・更生医療等の判定書類作成 適合判定 市町村等からの相談対応等 判定書交付業務 昼休み 補装具判定 ケース記録作成 判定書交付業務及び相談対応等 退庁

社会福祉Ⅱの職場紹介

▼児童相談所

子どもに関する様々な相談に応じ、助言や指導を行います。また、調査・診断・判定を行い、家族や関係機関と協力して子どもを支援します。その他、子ども一時保護や施設や里親への措置も行っています。



▼女性相談所

女性からの様々な相談に応じ、配偶者や交際相手からの暴力に悩んでいる人を支援する配偶者暴力相談支援センターとしての業務を行っています。相談者が安心・安全な生活が送れるよう関係機関と連携して支援しています。



▼こころの発達総合支援センター

子どもの心の健康や発達障害に関する問題に対応するため、「相談」「診療」「地域支援」「研修・普及」の4つを柱に仕事をしています。とてもやりがいのある職場です。



▼甲陽学園

不良行為等のある児童、家庭環境上の理由により支援が必要な児童に対し「暮らし・学び・心・働く」支援を行い児童の健全な育成を目指す児童自立支援施設です。



東海地区野球大会参加

山梨県職員を志す皆さんへ 先輩職員からメッセージです！ ※令和2年1月現在の所属



有泉 聡美 主任
都留児童相談所

H23.4 育精福祉センター採用
H26.4 あげぼの医療福祉センター
H29.4 都留児童相談所

◆現在の仕事

子どもの権利擁護を目的として、子どもに関するあらゆる相談に応じ支援する仕事です。児童相談所で様々な資格をもった職員が勤務しています。

◆現在の仕事のやりがい、魅力

日々、子どもや保護者の方と向き合いながら、子どもの力や支援者の思いを肌で感じられることが魅力です。

◆今までの業務の中で印象に残っていること

関わっていた子どもからもらった「がんばっているよ、ありがとう」という手紙は嬉しかったです。宝物です。

◆公務員福祉職になった理由

自分がお世話になった人たちに一番恩返しができる方法だと思ったからです。

◆仕事を通じて成長を実感できた経験

福祉は、自分の体・頭・心のすべてをつかって取り組む仕事だと思います。そのため、多くの方と関わり経験するほど、仕事面だけでなく内面の成長を実感できます。

◆今後の目標

仕事を通じて自分の内面の変化や成長を楽しんでいきたいと思っています。自然と仕事も楽しめるはず。

◆山梨県の魅力！

程よく田舎なところ。星がとにかくきれいです！ぼーっと空をみているだけで癒やされます。



赤松 拓 主任福祉司
子ども心理治療センターうぐいすの杜

H23.4 こころの発達総合支援センター採用
H26.4 あげぼの医療福祉センター
H30.4 中央児童相談所
R2.4 心理治療センターうぐいすの杜

◆現在の仕事

入所児童に対する心理評価および個人セラピーの実施。集団セラピーの運営および実施など。

◆現在の仕事のやりがい、魅力

総合環境療法による支援のなかで、子どもたちの成長を日々見届けられることや、自分のこれまでに培った能力を業務に直に反映できるところが魅力です。

◆今までの業務の中で印象に残っていること

幼児期にかかわった子どもたちと別の職場で再開した際、大きな成長が確認でき、早期支援の重要性を感じました。

◆公務員福祉職になった理由

自分の専門性(臨床心理学)を活かし、子どもたちの福祉により広く寄与したいと思ったため、福祉職を希望しました。

◆仕事を通じて成長を実感できた経験

入庁当所はチームで業務にあたる際に、何をしようかわからず受け身になりがちでしたが、先輩方からの指導を吸収するなかで、現在は能動的にチームでの作業をこなせるようになってきました。

◆今後の目標

自己研鑽を重ね、より専門性を高めるとともに、行政のシステムにも関心をもち、広い視野で業務にあたりたいと思っています。

◆山梨県の魅力！

台風等大きな天災に見舞われにくいことや、水がおいしいところが良いです。あと飲食店が地味に多いところもポイント高いです。

▼障害者相談所

障害に関する相談及び判定機関として市町村や他機関と共に障害者の福祉の向上に努めています。主に、補装具や更生医療についての判定、療育手帳の交付や判定業務、各種研修会等を開催しています。



▼精神保健福祉センター

ひきこもりや依存症、自殺防止等に関する相談支援のほか、当事者グループや家族教室、各種研修会の開催等を行っています。精神疾患のある方の人権擁護を目的とした精神医療審査会の事務局も担っており、精神保健福祉分野における中核的な機関です。



▼富士ふれあいセンター

富士北麓・東部地域の障害福祉相談、地域療育支援事業のほか、地域との交流・相互理解を深めるための各種研修会や文化教室、富士ふれあいの村まつりなどを行っています。



▼子ども心理治療センターうぐいすの杜

令和2年4月に開所した児童心理治療施設です。こころのケアが必要な小中学生が入所や通所して、心理治療や生活ケアを受けて社会生活への適応を図ります。治療的生活ケアを基盤に医療、心理治療、家庭支援、教育の専門職が協働して治療支援します。



▼あげぼの医療福祉センター

医療法による病院と児童福祉法・障害者総合支援法による福祉施設が合体し、医療及び福祉の専門職員が、入所支援、通園支援、地域支援を行っている複合施設です。肢体不自由の方や重複障害のある方を入所あるいは通所の形で受け入れ、その方の特性に応じた健康管理・治療・訓練・支援等を行うことにより、生活の質の向上を目指しています。

